



▲「現在の下牛牧地区」



▲「加茂郡伊深村字切絵図のうち下牛牧」

牛牧のはなし

伊深町に「牛牧(うしまき)」という地名があります。古くは「牛巻」とも書いたそうです。

その昔、正眼寺を開いた関山慧玄(かんざんえげん)さんは、現在の伊深町で修行されました。ここでの生活は、昼は牛の放牧や村人の農業の手伝いをし、夜は薬師谷で修行をするというものでした。牛を使って田をおこしたり、まきや炭の運搬をしたりしました。夏の草刈りや秋の収穫、冬のしば作りなど何でも手伝い、村人とも大変親しく暮らしていました。隣の関市にある長谷寺にお参りに行くときも、牛を連れて歩いて出掛けただため、その姿は大変評判になっていました。

「牛牧」という地名はここから来ているといわれています。現在は、「上牛牧」と「下牛牧」の二つの地区があります。

表紙の写真

キッズアスリート・プロジェクト



▲山手小学校を訪れた、夢の陸上キャラバン隊

日本陸上競技界のトップアスリートが小学校を訪れる「キッズアスリート・プロジェクト」が11月11日(火)、山手小学校で開催されました。

スポーツの基本である、「走る・跳ぶ・投げる」ことの楽しさを子どもたちに直接伝え、スポーツへの関心を高め、子どもたちの体力向上を目的に行われ、北京五輪で銅メダルを獲得した朝原宣治(のりはら)さんや、岐阜県出身の青木沙弥佳(さやか)選手らが、子どもたちを熱心に指導しました。

季節のひとこま



紅葉と秋の空(大手町公園) 11月5日撮影